

企画提案書を特定するための評価基準

評価項目	評価の着目点				評価ウェイト	
	判断基準					
予定管理技術者の経験及び能力【計10点】	資格・実績等	資格要件	技術者資格等	技術者資格等、その専門分野の内容	別紙2『企画提案書の提出者を選定するための基準』と同様。なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	2.5
		専門技術力	業務執行技術力	過去5年間の同種業務の実績	別紙2『企画提案書の提出者を選定するための基準』と同様。なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	6.5
		専任性	専任性	手持ち業務金額及び件数(特定後未契約のものも含む)	別紙2『企画提案書の提出者を選定するための基準』と同様。なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	1.0
小計					10.0	
予定照査技術者の経験及び能力【計10点】	資格・実績等	資格要件	技術者資格等	技術者資格等、その専門分野の内容	別紙2『企画提案書の提出者を選定するための基準』と同様。なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	2.5
		専門技術力	業務執行技術力	過去5年間の同種業務の実績	別紙2『企画提案書の提出者を選定するための基準』と同様。なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	6.5
		専任性	専任性	手持ち業務金額及び件数(特定後未契約のものも含む)	別紙2『企画提案書の提出者を選定するための基準』と同様。なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	1.0
小計					10.0	
予定担当技術者①経験及び能力【計5点】	資格・実績等	資格要件	技術者資格等	技術者資格等、その専門分野の内容	別紙2『企画提案書の提出者を選定するための基準』と同様。なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	2.5
		専門技術力	業務執行技術力	過去5年間の同種業務の実績	別紙2『企画提案書の提出者を選定するための基準』と同様。なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	2.0
		専任性	専任性	手持ち業務金額及び件数(特定後未契約のものも含む)	別紙2『企画提案書の提出者を選定するための基準』と同様。なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	0.5
小計					5.0	
予定担当技術者②経験及び能力【計5点】	資格・実績等	資格要件	技術者資格等	技術者資格等、その専門分野の内容	別紙2『企画提案書の提出者を選定するための基準』と同様。なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	2.5
		専門技術力	業務執行技術力	過去5年間の同種業務の実績	別紙2『企画提案書の提出者を選定するための基準』と同様。なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	2.0
		専任性	専任性	手持ち業務金額及び件数(特定後未契約のものも含む)	別紙2『企画提案書の提出者を選定するための基準』と同様。なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	0.5
小計					5.0	
技術者分野計(1次審査からの移行点=1次審査での評定点(60点)×0.5)					30.0	

評価項目	評価の着目点		評価ウェイト	
		判断基準		
プレゼンテーションにおける 業務理解度等 【計25点】	ヒアリング	業務理解度	地域の実情を把握し、当業務を遂行するにあたり、課題や留意点などを十分に理解している場合には優位に評価する。	10.0
		取組姿勢	提案した特定テーマに関する補足説明が明確で、取り組む意欲が強く感じられる場合に優位に評価する。	10.0
		信頼性	業務完了まで責任を持って業務を遂行する工程管理能力を有している場合に優位に評価する。	5.0
特定テーマに対する 企画提案 【計40点】	特定テーマ1	的確性	地形、環境、地域特性などの与条件との整合性が高い場合に優位に評価する。	5.0
			必要なキーワード(着目点、問題点、解決方法等)が網羅されている場合に優位に評価する。	
			事業の難易度に相応しい提案となっている場合に優位に評価する。	
	実現性	提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。	5.0	
		提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場合に優位に評価する。		
		検討しようとする内容について適切な留意点が明示されている場合に優位に評価する。		
	独創性	工学的知見に基づく新しい提案がある場合に優位に評価する。	5.0	
		業務経験や知見を基にした独自の提案がある場合に優位に評価する。		
		当案件の課題や問題を理解した独自の提案がある場合に優位に評価する。		
	特定テーマ2	的確性	地形、環境、地域特性などの与条件との整合性が高い場合に優位に評価する。	5.0
			必要なキーワード(着目点、問題点、解決方法等)が網羅されている場合に優位に評価する。	
			事業の難易度に相応しい提案となっている場合に優位に評価する。	
実現性	提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。	5.0		
	提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場合に優位に評価する。			
	検討しようとする内容について適切な留意点が明示されている場合に優位に評価する。			
独創性	工学的知見に基づく全く新しい提案がある場合に優位に評価する。	5.0		
	業務経験や知見を基にした独自の提案がある場合に優位に評価する。			
	当案件の課題や問題を理解した独自の提案がある場合に優位に評価する。			
特定テーマ3	業務実施方針の適格性	打ち合わせ、関係者との調整事項について明確に記載されている場合に優位に評価する。	5.0	
		業務の実施体制、実施におけるポイントが明確に記載されている場合に優位に評価する。		
		業務実施手順が適切で妥当である場合に優位に評価する。		
実施工程の妥当性	業務内容を的確に把握し、業務実施工程を提示している場合に優位に評価する。	5.0		
	当業務全体を十分に理解した上で、現実味のある業務実施工程を提示している場合に優位に評価する。			
見積(円) 【計5点】	業務コスト		5.0	
企画提案分野計			70.0	
合計			100.0	